

## 教育長定例記者会見 会見録

日時：令和5年3月7日（火） 15時00分～

場所：教育委員室

### 発表項目

- ・ 3Dメタバースを活用した交流会を行います

### 質疑事項

- ・ 「3Dメタバースを活用した交流会を行います」について
- ・ 「2021（令和3年）年度人権問題に関する教職員意識調査」について
- ・ 三重県立高等学校入学者選抜Web出願システムについて
- ・ 公立学校職員の給料および手当の支給に関する規則の一部を改正する規則等について
- ・ 知事公舎について

### 発表項目

- ・ 3Dメタバースを活用した交流会を行いますについて

県教育委員会では不登校の中学生、高校生が、他の人や社会とつながるきっかけを得ることができるように、オンライン空間での居場所づくりに取り組んでいます。昨年7月に初めてオンライン会議システムを活用した交流、10月からは2Dメタバースを用いた交流活動や社会見学などを行ってきたところです。

今回、より多くの生徒さんに興味・関心を持って参加してもらえるよう、生徒の方に身近なスマートフォンであるとか家庭用ゲームと同じ感覚で参加できる3Dメタバースを用いたイベントを開催するものです。3月14日、11時から12時までの予定です。内容としては、15分程度でのメタバース体験で、アバターを選んで操作方法を学んでもらった後、30分ぐらいでのメタバース内でのクイズ大会で、大学生がファシリテーターとなって参加者5人程度のグループを作ってもらって、運営スタッフが出題するクイズやなぞなぞにチャットや音声で回答するというものです。その後、45分ぐらいでメタバース内での交流を考えております。資料の4番で、参加者が安心して活動できるよう県教育委員会の指導員が見守ります。また、アプリのインストールは各自で行っていただきます。3月13日の15時までに、申込みをいただきたいと思っております。資料の最後にある7番のところ、7月から行ってきたオンラインの居場所づくりでの取組の拡充に加えて、オンラインの居場所を通じて知り合った生徒間の交流、イラストとかクラフト作品の展示とか、スポーツ観戦などを今後も予定しております。では、3Dメタバースの実演を少しだけ見ていただきます。

これは、今回ご用意させていただいたメタバースです。ゲームのような3D空間になっていまして、例えば簡単なアクション、ジャンプする、動き回る、感情表現で、例えば手を振

ることで相手を呼びかけたり、コンサートのようなカラーライトを出して、みんなで盛り上がることもできます。3D空間ですので、例えばクイズ大会でA、B、C、Dの4択クイズができる。ここにBがありますけども、Bが正解と思った人が集まるなど位置関係で4択クイズができます。もちろん先ほどのアクションができますので、大喜びするようなことができたり、握手だったり、逆に残念なときのがっくりというのもあります。他にも、個々のテーマに沿って集まって相談ができる交流スペースもありますので、そういったものを使って、イベントを行っていくのが今回になります。また、アバターですけど近寄っていけば会話できるのと、あるいはそれ以外ではチャットで会話できるということです。

### 発表項目に関する質疑

#### ○ 「3Dメタバースを活用した交流会を行います」について

(質) 3Dメタバースなのですけれど、3Dだとスマートフォンや家庭用ゲームと同じ感覚で参加できるとあるのですが、もう少し具体的に今までの2Dとは異なる点というか、2Dよりも優れた点というのはどういう点なのか。

(答) 2Dになると平面になりますので、どうしても細かくなったり全体が小さくて見にくかったりします。これは遠近感がしっかりしていますので、自分がまさに臨場感を持って、仲間同士で親しみを持ってグループが組めますし、そこでのやりとりというのは、近づけば先ほど申し上げたように音声でできるのですが、そういった部分をより自然にできるということです。生徒たちはスマートフォンとかゲームとかでもこういうような形が通常になっていますので、生徒にとってはより自然な形で、この空間を手に入れることができると思います。今までの2Dですと、どうしても一個前の形になりますので、生徒にとってみると、少し参加しにくかったり、参加してもいろいろな人と少し話しづらかったりすることがあったと思うのですが、今回は通常使っているのと同じことになりますので、より参加して、その上でいろいろな会話をしたり、交流ができると思っています。

(質) 2Dは古くて、今どきは3Dなのだというのは、この1年間の2Dの交流会の中で実際に生徒の方から意見があったとかですか。

(答) そうですね。昨年の7月に初めてオンライン空間での不登校生徒の交流というのをさせていただいたのですが、そこはZoomでさせてもらったのですが、なかなか参加してもそこからもう一歩、チャットにしろ、何にしろ会話をしたり、交流というのが進まない中で、メタバースという取組も出てきたということで、2Dにさせてもらったのですが、さらに3Dというのがあって、こちらの方がいいのではないかというのは、生徒の意見というよりも、我々もいろいろな取組がなされているのを聞きながら、担当の生徒指導課の方でも考えてもらったという状況です。

(質) 分かりました。今回は3月14日の1回だけなのですか、その2Dで今やっているみたいに継続性というのはどういうふうに考えているか。

(答) そうですね。この2Dの方は今年度無料でさせていただいています。今回の3Dは有料ということと、より3Dに応じた効果の上がる運営という面で、今回は10万円弱なのですけれども、事業者の方に委託してさせていただくことになっております。来年度以降は、今回こうやって2Dに参加した生徒も今回参加してくれると思いますので、アンケートもしっかりしながら、来年度は不登校の総合支援センターも設けますので、どういう枠組みがいいかはそのアンケートもふまえて検討していきたいと思っています。

(質) 今回の1回は、この令和4年度事業の中で1回だけやって、令和5年度以降どうするかというのはまた今後決めていく感じでいいですか。

(答 生徒指導課) はい。3Dメタバースですけれども、今回は実験的にさせていただくのですけれども、子どもたちの反応を見たり、それからいろんな取り組み方というのがありますので、そういったことも研究しながら、できるだけ子どもたちが興味・関心を持って参加してもらえるような取組を引き続きやりたいと考えています。

(答) 生徒によってやっぱりいろいろコミュニケーションがあると参加しやすかったり、得手不得手もありますので、今年度いろんなことは試行錯誤しましたので、またトータルをふまえて、来年度より良い形にしたいと思いますし、いろんな方策は提供したいと思っています。

(質) あとご参考までに、これまでの7月からやってきた2Dメタバースの交流会の参加人数とか延べ人数とかあれば。

(答) 2Dメタバースは2月28日時点ですけれども13回実施をして、参加人数が延べ93人です。それから今の13回を含めたオンラインの居場所づくりは、今年度80回やって、延べ395人が参加してくれています。

(質) 395人。

(答) はい。それはZoomのようなオンラインを合わせてということです。メタバースが13回で93人です。それは内数です。

(質) メタバース含めたオンラインの居場所、Zoomとかが80回の395人。主に中高生ですか。

(答) 中高生ですね。県外の広島とかで、一緒にやった部分も含めてですけれども。

(質) 分かりました。

### その他の項目に関する質疑

#### ○ 「2021（令和3年）年度人権問題に関する教職員意識調査」について

(質) 今日の教育委員会の中で、教職員の人権問題に関する教職員意識調査の報告書があつて、まだ全然読み込めていないのですけれども、具体的に調査の概要とどういう結果が出たかを教えてもらってもいいですか。

(答) 教職員への意識調査ということで、前回はだいたい7年前くらいに実施しておりますので、前回は平成25年度に実施しています。県内の幼稚園、小・中学校、県立学校等の

教職員の三千人を対象に実施しました。教育委員会の資料もお配りしているのですが、その中で主な成果や課題ということで、4点まとめてあります。報告1の1ページ目の3番なのですが、教職員が人権教育に取り組むきっかけということで、先輩教職員との出会いであるとか、学校における所属校での人権教育の取組、OJTとかということで、そういったことがあるということと、前回の調査では、特に若手の教員がなかなか人権教育をするのに不安があるという教職員が多かったのですが、今回7割以上の教職員が、教材を活用した人権学習を、自信を持って行うことができると回答しています。前回そういうことがありましたので、教育委員会の方でも授業で活用できる学習教材とか指導資料を作成したということです。一方、課題として2点挙げているのですが、差別解消三法とかで法令の認知度に世代間で差が生じているということで、特に若い世代が受ける法定研修とかで、そういった知識、理解を深める必要があると認識しています。もう一点、若い世代ほど、個人がもっと努力すべきではないかということを確認する割合が高くなっています。これも、子どもの実態について理解を深める必要があるということです。来年度、三重県教育委員会では人権教育基本方針を改定することになっていますので、今回の調査結果もふまえて、そこにどういふものを盛り込んでいったらいいのかを検討すると、課題をふまえて来年度の研修の中に課題が解消できるような項目も入れて、取り組んでいきたいと思っています。

(質) 基本方針というものはもともと何年かおきに変えるものなのか、それともこの調査結果をふまえて変えるものなのか。

(答) 県の方も人権施策の基本方針を作っておりまして、教育委員会でも県の基本方針の改定に合わせて、改定することになっています。先ほど申し上げた教職員の意識調査の結果と課題もふまえて、その内容を考えていくことになります。

(質) 改定することがもともと決まっていたか。

(答) そうです。

#### ○ 三重県立高等学校入学者選抜Web出願システムについて

(質) 入試の関係なのですが、今年度、電子的に出願をされましたけども、ここまでの後期選抜までの出願が終わって、手応えとか課題とかがあれば教えていただきたいのですが。

(答) そうですね。初めての取組ですので、我々も、高校教育課中心に丁寧に対応させていただいています。それで、電子で出願いただくということで、電子データができますので、それを今まで手作業でやっていた部分が改善できるというところがございます。明後日が後期選抜になります。その後もそういう出願を電子でしたということの効果も、考えられる事務手続きもありますので、もう少しトータルの、一連の部分を終わってから改めて課題とか成果を整理したいと思っています。中学校にしてみると、手間はあったのですが、実際に調査書とかを手渡ししたということで確実に提出したというこ

とが、今まで大変だったのですけど確認できたというところがあったのですが、電子ということで、しっかり届いているかなという少し確認したいなというところがありましたので、そのことも含めて改めて、入試の一連の事務、合格した生徒さんは、そのデータを校務支援システムとかへそのまま反映できるということがありますので、そこまで含めた使い勝手とか、もし改善するところがあるのでしたら、そのあたりはまた整理していきたいと思っています。

○ 公立学校職員の給料および手当の支給に関する規則の一部を改正する規則等について

(質) 今日の議案の方で出ている、公立学校職員の給料および手当の支給とか、勤務時間の一部改正する案とかあるのですけど、こちらは国の動きを受けてという形になるのでしょうか。

(答) 三重県として知事部局でも改正をするということで、県全体としてこういう勤務時間、休暇の取り扱いを改正するということになりましたので、教育委員会でも必要な規則を今回提案したということです。

(質) 給料と手当の支給についても同じか。

(答) 給料と手当は、へき地手当というのがありまして、そのへき地の学校が、3級から1級、それからへき地学校に準ずる学校という区分がありまして、今回、その区分が変更になる学校がありましたので、そこを改正するというものになります。国というよりも三重県の状況をふまえてということです。

○ 知事公舎について

(質) 余談的で恐縮ですが、知事公舎の件なのですけど、跡地について、各県庁内の各部局にアイデアを募りますと、来年度いっぱいアイデアを募りますと。手をあげてくれたところがあればそうするし、そうでなければ総務部で処分を再来年度初めに決めるということなのですが、教育委員会としては知事公舎の建物とか土地を使ってこんなことをしてみたいなとか、今の今で恐縮なのですけど、何かありますか。

(答) いろんな制約がなければ、立地的には駅から近いところではあるのかなと思いますけど、ちょっと今、直ちにこういうところということは、なかなか言及が、思いつかないところがあるのですけど、ずっと以前から三重県としては、例えば県有施設がなんらかで廃止とかになった場合は、庁内でまずその有効活用がという、そういうルールでやっていますので、また照会が正式にくるのかなと思います。

以上、15時30分終了